

県西・熱海で新観光圏

11市町で協議会

県西地域2市8町と静岡
 県熱海市の計11市町内の観
 光業者らが、長期宿泊客を
 呼び込める新たな「観光圏」
 を作るべく、「箱根・湯河
 原・熱海・あしがら観光圏
 協議会」を設立した。協議会
 は11市町の首長らが顔をそろ
 えて開かれた設立総会には、
 2日、県小田原合同庁舎
 が認定を受けている。
 これまで、全国で30地域
 認められれば、県内では初。



常備する初期救急用の救急箱を持つ会員たち

麦田町発展会 (横浜市中区)

もしも交通事故や地震
 で負傷者が出たら――。
 そんな非常事態に備えて、
 救急車の到着前に初期救急

万一に備え 救急箱常備

ストーリー

手袋など初期救急に必要な
 13種類の救急用品が入って
 いる。
 救急箱の設置を提案し
 た焼き肉店経営、加賀谷
 徹さん(34)は「小さいけ
 がをした場合でも、すぐ
 に救急用品を『どうぞ』
 と差し出すことができる
 から、コミュニケーション
 のきっかけにもなる」
 と話す。
 車の運転中に負傷者を見
 つけた場合にも、すぐに助
 けられるように、経営者の

交通事故の現場に遭遇するケ
 ースも少なくない。そこで
 昨春秋、社会貢献の一環と
 して、各店に救急箱を置く
 ことを決めた。現在までに

救急箱が置いてあること
 を通行人らに知らせるた
 め、店舗前や車の窓ガラス
 に「ファーストエイドキッ
 ト」(初期救急箱)の略語
 「FA」と書
 かれたシール
 も張ってい
 る。
 同会の大
 谷穂会長(67)は「私たち
 の活動を出発点にして、
 救急箱を置く商店街の活
 動が横浜市内に広がって
 いったほしい」と期待して
 いる。

ができるよう、大半の商
 店が救急箱を常備してい
 る。
 麦田町発展会に加盟する
 約40店舗は、交通量が多い
 本牧通の両側に並んでお
 り、経営者や従業員らが交

約30店、5月には全店が置
 く予定だ。
 救急箱には包帯やガー
 ゼ、消毒液のほか、車内の
 シートベルトを切って負傷
 者を救出できるはさみや感
 染予防用のプラスチック製

など12部門中5部門を獲得
 した。西川監督は「テレビ
 一作を応援してくれたヨコ
 ハマにまた帰ってこれた」
 と喜びを語った。
 西川監督にとって今作
 品は3作目の長編。同映画
 祭との縁は深く、テレビ
 一作の「蛇イチゴ」(20
 02年)では新人監督賞、
 「ゆれる」(06年)でも作
 品賞を受賞している。

「5冠」ドクター

コハマ映画祭



祭の受賞者ら。前列左端
 「ドクター」の西川監督

続けて獲得したことを「一
 番うれしいこと」と喜んだ。
 西川監督は次回作につい
 て、「自分が身近に感じた
 ことをやっていきたい」と
 話していた。

鎌倉産の梅酒

鎌倉の寺院や農家から提
 供された梅の実で作る「か
 ら梅酒」は、昔ながらの
 味と香りが特徴。今年も
 好評です。

2月10日	70	70	80	70	17
午後	70	70	80	70	17
夜	70	70	80	70	17
日曜	70	70	80	70	17
祝日	70	70	80	70	17
18	20	19	17		